

アスパラガス栽培管理 (H29.10.)

(有) 丸 富

9月に入ったら全体的に朝晩が涼しくなり、夜間の温度に比例して収穫量が減った。中旬は台風や低気圧で雨が多くなり、日照時間が少なかった。日中はまだ暑く、近日点の満月過ぎた頃、ダニの繁殖が盛んになった。

貯蔵養分対策

今年は全体的に根張りが悪いので、地下貯蔵養施設である貯蔵根を作る。

貯蔵根作りに**天地の恵み 500倍**と**サンミネーラ 2,000倍**と**GバランスDF 5,000倍**を灌注、又は散水する。
貯蔵養分の蓄積に**時を越えた贈り物 1,000倍**と**天地の恵み 2,000倍**と**サンミネーラ 3,000倍**を散布する。
黄化促進と転流促進に**カルスター 2袋/10a**と**ジャストマグ 2~3袋/10a**を散布する。(2ヶ月に1回)

光合成促進

来年の春芽を形成する貯蔵養分は光合成産物(デンプン、ブドウ糖)である。その光合成産物を多く生産できるように、光合成を促進する。

光合成促進に**笑顔 1,000倍**(又は**天地の恵み 500倍**)と**サンミネーラ 10,000倍**(又は**シカアップ 10,000倍**)を葉面散布する。(又は防除時に混用散布する。)

※葉が混み合っている場合は、**笑顔**の代わりに**時を越えた贈り物**を葉面散布する。

黄化促進

収穫が終わったら、来年の春芽が充実するように、お礼肥を行う。その後、地上部(茎葉)の養分を地下部(貯蔵根)へ転流し、黄化を促進する。

黄化促進に**時を越えた贈り物 1,000倍**と**ウルカル**(又は**スーパーカル**)**1,000倍**と**サンミネーラ 2,000倍**を散布する。

害虫対策

近日点の満月頃になると、害虫が盛んに活動する。害虫の動向を観察して、事前対応で予防する。

害虫の発生前から**バイオアクト TS 50~70cc/10a**(又は**ストップ-雅 200~300cc/10a**)と**時を越えた贈り物 200cc/10a**を5~7日ごとに灌水する。防除時に**バイオアクト TS 2,000~3,000倍**を混用して散布する。

病害対策

新月頃は栄養生長するので、病害が発生しやすい。とくに新月頃(下旬)に通過する低気圧には要注意。

窒素消化を促進する**時を越えた贈り物 1,000倍**と**サンミネーラ 1,000倍**を散布する。

追肥(液肥)

天地の恵み(プロ液肥)

200g(1kg)/10a

時を越えた贈り物

200g/10a

サンミネーラ(シカアップ)

50g(100cc)/10a

バイオアクト TS

50~70cc/10a

5~7日ごとに灌水する場合

※収穫量や土壌条件、天候によって加減する。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

0942-65-0123 (TEL)

FAX 0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)